

be English Logic and Expression II Clear New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、目標の欄に（TASK-A）（SHARE）（WRITE）のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 1 Your Interests

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・時制を正しく用いて表現することができる。 ・興味のあることについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 時制の意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 時制などを適切に用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 時制の意味や働きについて理解している。(CHECK-B) <技能> 時制の表現を適切に用いて、話す技能を身につけている。(TASK-C,SHARE)	<知識> 時制の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 時制の表現を適切に用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B)
	a	時制などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 時制の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 時制の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	時制などを適切に用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 時制の表現を適切に用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 時制の表現を適切に用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	時制などを適切に用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 時制の表現を適切に用いて、英語で話すことが十分できない。	c 時制の表現を適切に用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	クラブ活動や自分の趣味について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A,SHARE)	クラブ活動や自分の趣味についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-C,SHARE)	人のプロフィールについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B)
	a	クラブ活動や自分の趣味について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a クラブ活動や自分の趣味についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 人のプロフィールについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	クラブ活動や自分の趣味について、伝え合うことができる。	b クラブ活動や自分の趣味についての情報を、話すことができる。	b 人のプロフィールについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	クラブ活動や自分の趣味について、伝え合うことが十分できない。	c クラブ活動や自分の趣味についての情報を、話すことが十分できない。	c 人のプロフィールについての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	クラブ活動や自分の趣味について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	クラブ活動や自分の趣味についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, SHARE)	グループのメンバーについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	自分の部活について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a クラブ活動や自分の趣味についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a グループのメンバーについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	クラブ活動や自分の趣味について、伝え合う姿勢がみられる。	b クラブ活動や自分の趣味についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b グループのメンバーについての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	クラブ活動や自分の趣味について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c クラブ活動や自分の趣味についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c グループのメンバーについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 2 Interacting with People

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞句や名詞節を正しく用いて表現することができる。 ・日常生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 名詞節の意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 名詞節を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C)	目標 <知識> 動名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 動名詞を用いて話す技能を身につけている。(TASK-B)	目標 <知識> 不定詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,C) <技能> 不定詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-A)
	a	名詞節などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 動名詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 不定詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	名詞節などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 動名詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 不定詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	名詞節を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 動名詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 不定詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	流行していることや関心があることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-C, SHARE)	目標 自分がふだん楽しんでいることについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-B, SHARE)	目標 週末の計画についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-A)
	a	流行していることや関心があることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 自分がふだん楽しんでいることについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 週末の計画についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	流行していることや関心があることについて、伝え合うことができる。	b 自分がふだん楽しんでいることについての情報を、話すことができる。	b 週末の計画についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	流行していることや関心があることについて、伝え合うことが十分できない。	c 自分がふだん楽しんでいることについての情報を、話すことが十分できない。	c 週末の計画についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	流行していることや関心があることについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, SHARE)	目標 流行していることやふだん楽しんでいることについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, SHARE)	目標 動画の台本についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	流行していることや関心があることについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 流行していることやふだん楽しんでいることについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 動画の台本についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	流行していることや関心があることについて、伝え合う姿勢がみられる。	b 流行していることやふだん楽しんでいることについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 動画の台本についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	流行していることや関心があることについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 流行していることやふだん楽しんでいることについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 動画の台本についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 3 Explaining School Life

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・学校生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A,B) <技能> 助動詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A,B)	<知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 助動詞を用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A,B,C) <技能> 助動詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C)
	a	助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 助動詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 助動詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	助動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 助動詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 助動詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助動詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 助動詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 助動詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	与えられた設定について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A)	目標 掃除当番の手順についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(SHARE)	目標 イラストの人物の状況について、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C)
	a	与えられた設定について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 掃除当番の手順についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a イラストの人物の状況について、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	与えられた設定について、伝え合うことができる。	b 掃除当番の手順についての情報を、話すことができる。	b イラストの人物の状況について、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	与えられた設定について、伝え合うことが十分できない。	c 掃除当番の手順についての情報を、話すことが十分できない。	c イラストの人物の状況について、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	与えられた設定について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	目標 掃除当番の手順についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標 学校の施設の使い方についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	与えられた設定について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 掃除当番の手順についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 学校の施設の使い方についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	与えられた設定について、伝え合う姿勢がみられる。	b 掃除当番の手順についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 学校の施設の使い方についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	与えられた設定について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 掃除当番の手順についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 学校の施設の使い方についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

LESSON 4 Media Literacy

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や分詞を正しく用いて表現することができる。 ・メディアリテラシーについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 形容詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 分詞形容詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 形容詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 形容詞を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 分詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-B,C) <技能> 分詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B)
	a	分詞形容詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 形容詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 分詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	分詞形容詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 形容詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 分詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	分詞形容詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 形容詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 分詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	最近知ったことについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-C,SHARE)	ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A)	ソーシャルメディアの投稿内容についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, WRITE)
	a	最近知ったことについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a ソーシャルメディアの投稿内容についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	最近知ったことについて、伝え合うことができる。	b ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、話すことができる。	b ソーシャルメディアの投稿内容についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	最近知ったことについて、伝え合うことが十分できない。	c ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、話すことが十分できない。	c ソーシャルメディアの投稿内容についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	ソーシャルメディアの投稿について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	ソーシャルメディアの注意点についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	ソーシャルメディアの投稿について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a ソーシャルメディアの注意点についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	ソーシャルメディアの投稿について、伝え合う姿勢がみられる。	b ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b ソーシャルメディアの注意点についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	ソーシャルメディアの投稿について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c ソーシャルメディアをどう利用しているかについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c ソーシャルメディアの注意点についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

LESSON 5 Helping Others

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞句を正しく用いて表現することができる。 ・ボランティア活動について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 形容詞句を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 形容詞句を用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B) <技能> 形容詞句を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B, WRITE)
	a	形容詞句などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 形容詞句の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 形容詞句を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	形容詞句などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 形容詞句の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 形容詞句を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	形容詞句を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 形容詞句の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 形容詞句を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	ボランティアの経験について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A)	社会貢献活動についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(SHARE)	ボランティア活動についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, WRITE)
	a	ボランティアの経験について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 社会貢献活動についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a ボランティアや寄付についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	ボランティアの経験について、伝え合うことができる。	b 社会貢献活動についての情報を、話すことができる。	b ボランティアや寄付についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	ボランティアの経験について、伝え合うことが十分できない。	c 社会貢献活動についての情報を、話すことが十分できない。	c ボランティアや寄付についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	参加してみたいボランティア活動について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	社会貢献活動についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	ボランティアや寄付についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, WRITE)
	a	参加してみたいボランティア活動について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 社会貢献活動についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a ボランティアや寄付についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	参加してみたいボランティア活動について、伝え合う姿勢がみられる。	b 社会貢献活動についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b ボランティアや寄付についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	参加してみたいボランティア活動について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 社会貢献活動についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c ボランティアや寄付についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 6 Introducing Your Town

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞や関係副詞を正しく用いて表現することができる。 ・地域活性レポートについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと		
知識・技能	目標	<知識> 関係代名詞や関係副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 関係代名詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A, C)	目標 <知識> 関係代名詞や関係副詞の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 関係代名詞や関係副詞を用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	目標 <知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 関係代名詞や関係副詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B)		
	a	関係代名詞や関係副詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	関係代名詞や関係副詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	関係代名詞や関係副詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	関係代名詞や関係副詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	関係代名詞や関係副詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	関係代名詞や関係副詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	関係代名詞や関係副詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	関係代名詞や関係副詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	関係代名詞や関係副詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	町の魅力について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A, C)	目標	地域活性化のアイデアを、筋道を立てて詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	好きな町の紹介や地域活性化のアイデアについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, WRITE)
	a	町の魅力について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	地域活性化のアイデアを、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	好きな町の紹介や地域活性化のアイデアについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	町の魅力について、伝え合うことができる。	b	地域活性化のアイデアを、話すことができる。	b	好きな町の紹介や地域活性化のアイデアについてを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	町の魅力について、伝え合うことが十分できない。	c	地域活性化のアイデアを、話すことが十分できない。	c	好きな町の紹介や地域活性化のアイデアについて、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	町の魅力について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, C)	目標	観光スポットについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	好きな町の紹介や地域活性化のアイデアについて、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, WRITE)
	a	町の魅力について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	地域活性化のアイデアを、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	好きな町の紹介や地域活性化のアイデアについて、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	町の魅力について、伝え合う姿勢がみられる。	b	地域活性化のアイデアを、話そうとする姿勢がみられる。	b	好きな町の紹介や地域活性化のアイデアについて、書こうとする態度がみられる。
	c	町の魅力について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	地域活性化のアイデアを、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	好きな町の紹介や地域活性化のアイデアについて、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 7 Learning Languages

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 副詞を正しく用いて表現することができる。 世界の言語について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 副詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 副詞を用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 副詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B, C)
	a	副詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 副詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 副詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	副詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 副詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 副詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	副詞などを用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 副詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 副詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	ことばの使い分けについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A)	目標 外国語学習についての意見を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(SHARE)	目標 海外との行事の違いなどについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, C)
	a	ことばの使い分けについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 外国語学習についての意見を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 海外との行事の違いなどについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	ことばの使い分けについて、伝え合うことができる。	b 外国語学習についての意見を、話すことができる。	b 海外との行事の違いなどについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	ことばの使い分けについて、伝え合うことが十分できない。	c 外国語学習についての意見を、話すことが十分できない。	c 海外との行事の違いなどについて、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	ことばの使い分けについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	目標 外国語学習についての意見を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標 外国語学習についての意見を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	ことばの使い分けについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 外国語学習についての意見を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 外国語学習についての意見を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	ことばの使い分けについて、伝え合う姿勢がみられる。	b 外国語学習についての意見を、話そうとする姿勢がみられる。	b 外国語学習についての意見を、書こうとする態度がみられる。
	c	ことばの使い分けについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 外国語学習についての意見を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 外国語学習についての意見を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

LESSON 8 Appreciating Art

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 副詞句を正しく用いて表現することができる。 芸術を描写することについて話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 副詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 副詞句を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 副詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 副詞句を用いて話す技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 副詞句の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 副詞句を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B,C)
	a	副詞句などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 副詞句の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 副詞句を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	副詞句などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 副詞句の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 副詞句を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	副詞句を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 副詞句の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 副詞句を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	道具の使い方について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A)	目標 イラストの人物の様子を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-C)	目標 イラストの人物の様子を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C)
	a	道具の使い方について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a イラストの人物の様子を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a イラストの人物の様子を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	道具の使い方について、伝え合うことができる。	b イラストの人物の様子を、話すことができる。	b イラストの人物の様子を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	道具の使い方について、伝え合うことが十分できない。	c イラストの人物の様子を、話すことが十分できない。	c イラストの人物の様子を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	絵画の人物の状況について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標 イラストの人物の様子を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	目標 作品を描写して感じたことを、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	絵画の人物の状況について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a イラストの人物の様子を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 作品を描写して感じたことを、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	絵画の人物の状況について、伝え合う姿勢がみられる。	b イラストの人物の様子を、話そうとする姿勢がみられる。	b 作品を描写して感じたことを、書こうとする態度がみられる。
	c	絵画の人物の状況について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c イラストの人物の様子を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 作品を描写して感じたことを、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 9 Happiness and Stress

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 副詞節を正しく用いて表現することができる。 幸福・ストレスについて話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 副詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 副詞節を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 副詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 副詞節を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 副詞節の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 副詞節を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B, C)
	a	副詞節などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 副詞節を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 副詞節を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	副詞節などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 副詞節を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 副詞節を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	副詞節を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 副詞節を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 副詞節を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	幸せを感じる理由について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A)	目標 幸せを感じるタイミングについて、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A)	目標 ストレスの発散方法や悩みのアドバイスについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, C)
	a	幸せを感じる理由について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 幸せを感じるタイミングについて、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a ストレスの発散方法や悩みのアドバイスについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	幸せを感じる理由について、伝え合うことができる。	b 幸せを感じるタイミングについて、話すことができる。	b ストレスの発散方法や悩みのアドバイスについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	幸せを感じる理由について、伝え合うことが十分できない。	c 幸せを感じるタイミングについて、話すことが十分できない。	c ストレスの発散方法や悩みのアドバイスについて、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	幸せに必要な要素について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標 幸せを感じるタイミングについて、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	目標 ストレス解消について、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	幸せに必要な要素について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 幸せを感じるタイミングについて、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 幸せに必要な要素について、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	幸せに必要な要素について、伝え合う姿勢がみられる。	b 幸せを感じるタイミングについて、話そうとする姿勢がみられる。	b 幸せに必要な要素について、書こうとする態度がみられる。
	c	幸せに必要な要素について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 幸せを感じるタイミングについて、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 幸せに必要な要素について、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

LESSON 10 Comparing Countries

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 比較表現を正しく用いて表現することができる。 世界の国々について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 比較表現を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	目標	<知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 比較表現を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C)
	a	比較表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	比較表現の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。
	b	比較表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	比較表現の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。
	c	比較表現などを用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	比較表現の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	データから読み取れることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B)	目標	データから読み取れることについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(SHARE)
	a	データから読み取れることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	データから読み取れることについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。
	b	データから読み取れることについて、伝え合うことができる。	b	データから読み取れることについての情報を、話すことができる。
	c	データから読み取れることについて、伝え合うことが十分できない。	c	データから読み取れることについての情報を、話すことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	データから読み取れることについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B)	目標	データから読み取れることについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)
	a	データから読み取れることについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	データから読み取れることについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。
	b	データから読み取れることについて、伝え合う姿勢がみられる。	b	データから読み取れることについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。
	c	データから読み取れることについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	データから読み取れることについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

LESSON 11 Innovation and Imagination

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法を正しく用いて表現することができる。 ・革新と想像について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 仮定法を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C)	目標 <知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 仮定法を用いて、話す技能を身につけている。(TASK-A)	目標 <知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 仮定法を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B)
	a	仮定法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	仮定法の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。
	b	仮定法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	仮定法の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。
	c	仮定法を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	仮定法の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	「持っていれば/持っていなければ」と想像したことについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-C)	目標 発明家だったら発明したいものについて、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A)	目標 100年前の日本にいたらどんな生活をしていたかについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B)
	a	「持っていれば/持っていなければ」と想像したことについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	発明家だったら発明したいものについて、筋道を立てて詳しく話すことができる。
	b	「持っていれば/持っていなければ」と想像したことについて、伝え合うことができる。	b	発明家だったら発明したいものについて、話すことができる。
	c	「持っていれば/持っていなければ」と想像したことについて、伝え合うことが十分できない。	c	発明家だったら発明したいものについて、話すことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	「持っていれば/持っていなければ」と想像したことについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	目標 先進技術で問題を解決する方法を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標 悩みを解決するためにどのように先端技術を活用できるかについての考えを、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	「持っていれば/持っていなければ」と想像したことについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	先進技術で問題を解決する方法を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。
	b	「持っていれば/持っていなければ」と想像したことについて、伝え合う姿勢がみられる。	b	先進技術で問題を解決する方法を、話そうとする姿勢がみられる。
	c	「持っていれば/持っていなければ」と想像したことについて、何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	先進技術で問題を解決する方法を、何とか話そうとする姿勢がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

LESSON 12 Introducing Japan

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・that節や話法などを正しく用いて表現することができる。 ・日本の文化について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 認識の表現などの意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 認識の表現などを用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	目標	<知識> 話法の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 話法を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C)
	a	認識の表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	話法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	認識の表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	話法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	認識の表現などを用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	話法を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	アンケート結果について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B)	目標	日本のポップカルチャーについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C, WRITE)
	a	アンケート結果について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	日本のポップカルチャーについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	アンケート結果について、伝え合うことができる。	b	日本のポップカルチャーについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	アンケート結果について、伝え合うことが十分できない。	c	日本のポップカルチャーについての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	イベントで日本文化を体験できるアイデアについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	日本のポップカルチャーについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	イベントで日本文化を体験できるアイデアについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	日本のポップカルチャーについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	イベントで日本文化を体験できるアイデアについて、伝え合う姿勢がみられる。	b	日本のポップカルチャーについての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	イベントで日本文化を体験できるアイデアについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	日本のポップカルチャーについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

LESSON 13 Population Issues

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・存在や変化を表す表現を正しく用いて表現することができる。 ・人口問題について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 存在や変化を表す表現を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	<知識> 存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 存在や変化を表す表現を用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 存在や変化を表す表現を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-A, C)
	a	存在や変化を表す表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 存在や変化を表す表現の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 存在や変化を表す表現を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	存在や変化を表す表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 存在や変化を表す表現の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 存在や変化を表す表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	存在や変化を表す表現を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 存在や変化を表す表現の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 存在や変化を表す表現を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	少子化対策について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B, SHARE)	少子化の資料から考えたことについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(SHARE)	イラストや資料からわかることについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-A, C)
	a	少子化対策について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 少子化の資料から考えたことについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a イラストや資料からわかることについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	少子化対策について、伝え合うことができる。	b 少子化の資料から考えたことについての情報を、話すことができる。	b イラストや資料からわかることについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	少子化対策について、伝え合うことが十分できない。	c 少子化の資料から考えたことについての情報を、話すことが十分できない。	c イラストや資料からわかることについての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	少子化対策について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, SHARE)	少子化の資料から考えたことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	少子化対策についての考えを、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	少子化対策について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 少子化の資料から考えたことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 少子化対策についての考えを、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	少子化対策について、伝え合う姿勢がみられる。	b 少子化の資料から考えたことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 少子化対策についての考えを、書こうとする態度がみられる。
	c	少子化対策について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 少子化の資料から考えたことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 少子化対策についての考えを、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

LESSON 14 Diversity and Inclusion

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・使役動詞や知覚動詞などを正しく用いて表現することができる。 ・多様性と包括性について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 使役動詞や知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 使役動詞や知覚動詞などを用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A, SHARE)	<知識> 使役動詞や知覚動詞などについて理解している。(SHARE) <技能> 使役動詞や知覚動詞などを用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 使役動詞や知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 使役動詞や知覚動詞などを用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B, C,WRITE)
	a	使役動詞や知覚動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 使役動詞や知覚動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 使役動詞や知覚動詞などを用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	使役動詞や知覚動詞などを適切に用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 使役動詞や知覚動詞などを適切に用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 使役動詞や知覚動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	使役動詞や知覚動詞などを用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 使役動詞や知覚動詞などを用いて、英語で話すことが十分できない。	c 使役動詞や知覚動詞などを用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	ジェンダーやインクルーシブ社会について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A, SHARE)	目標 インクルーシブ社会の実現について、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-D)	目標 Multicultural Festivalに描かれた情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C)
	a	ジェンダーやインクルーシブ社会について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a インクルーシブ社会の実現について、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a Multicultural Festivalに描かれた情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	ジェンダーやインクルーシブ社会について、伝え合うことができる。	b インクルーシブ社会の実現について、話すことができる。	b Multicultural Festivalに描かれた情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	ジェンダーやインクルーシブ社会について、伝え合うことが十分できない。	c インクルーシブ社会の実現について、話すことが十分できない。	c Multicultural Festivalに描かれた情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	ジェンダーやインクルーシブ社会について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	目標 インクルーシブ社会の実現について、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標 暮らしやすい社会の取り組みについての考えを、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	ジェンダーやインクルーシブ社会について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a インクルーシブ社会の実現について、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 暮らしやすい社会の取り組みについての考えを、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	ジェンダーやインクルーシブ社会について、伝え合う姿勢がみられる。	b インクルーシブ社会の実現について、話そうとする姿勢がみられる。	b 暮らしやすい社会の取り組みについての考えを、書こうとする態度がみられる。
	c	ジェンダーやインクルーシブ社会について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c インクルーシブ社会の実現について、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 暮らしやすい社会の取り組みについての考えを、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression II Clear New Edition

LESSON 15 Sustainability in Action

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・英語らしい表現方法を正しく用いて表現することができる。 ・サステナブルな社会について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 英語らしい表現方法の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 英語らしい表現方法を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B, SHARE)	目標	<知識> 英語らしい表現方法の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B,C) <技能> 英語らしい表現方法を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C, WRITE)
	a	英語らしい表現方法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	英語らしい表現方法を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。
	b	英語らしい表現方法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	英語らしい表現方法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。
	c	英語らしい表現方法を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	英語らしい表現方法を用いて、英語で話すことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	アップサイクルのアイデアについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B)	目標	リサイクルなどの取り組みについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A)
	a	アップサイクルのアイデアについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	リサイクルなどの取り組みについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。
	b	アップサイクルのアイデアについて、伝え合うことができる。	b	リサイクルなどの取り組みについての情報を、話すことができる。
	c	アップサイクルのアイデアについて、伝え合うことが十分できない。	c	リサイクルなどの取り組みについての情報を、話すことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	環境保護への取り組みについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	リサイクルなどの取り組みについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)
	a	環境保護への取り組みについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	リサイクルなどの取り組みについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。
	b	環境保護への取り組みについて、伝え合う姿勢がみられる。	b	リサイクルなどの取り組みについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。
	c	環境保護への取り組みについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	リサイクルなどの取り組みについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。